

腰椎圧迫骨折



松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

<病気について>

作成：医事課

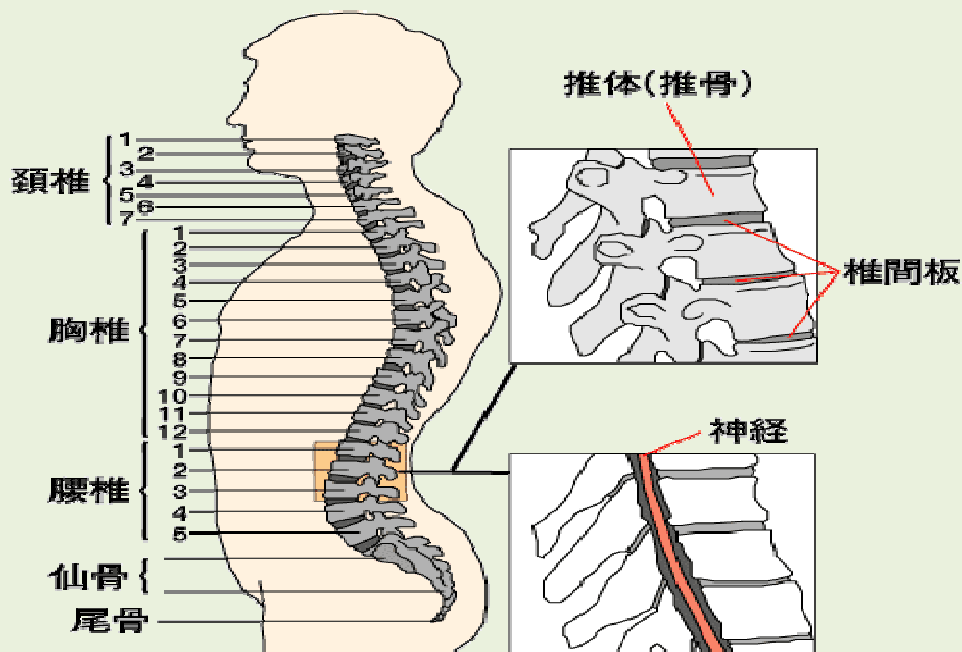
ようつゐあっぱくこっせつ

腰椎圧迫骨折は外から強い力が加わって起こることもありますが、腰椎が骨粗鬆症^{こつそしょうしょう}などでもろくなっていると、しりもちをつく程度の軽微^{けいび}な外からの力で起こることもあります。



<症状>

軽度の腰椎圧迫骨折における症状は、外傷により出現した腰痛^{せきすいしんけい あっぱく}だけです。腰椎のすぐ後ろにある脊髄神経^{せきすいしんけい}を圧迫するほどの骨折でなければ、足のしびれや痛みはありません。



<検査>

レントゲン、CT、MRIにより診断します。



<治療>

腰椎圧迫骨折の治療は、安静による保存療法ほそんりょうほうが基本となります。脊髄せきずい神経しんけいに近い椎体ついたいの後ろ側かしまひが折れていけば陥没かんぼつして骨片こっぺんが神経に刺さったり、圧迫したりして、下肢麻痺かしまひを起こすこともあるため、手術が必要になることもあります。

<入院費～概算～>

1割・2割負担 44,400円（上限）

3割負担 250,000円 前後

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

- ・年間症例数 29件
- ・平均入院日数 23.3日

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、
医事課までお気軽にお尋ね下さい。